



市民と市長との対話集会
棚田を未来につなぐために

令和5年11月12日

 上越市

今日、皆さんと話し合いたいこと

さまざまな価値や魅力を持つ

“棚田”を未来へつなぐために

一人一人ができること、必要なこと

…例えば、棚田を知る、食べる、発信する、訪れるなど

残雪の妙高連山と春の棚田（板倉区筒方地区）

四季折々の姿を魅せる、美しい棚田



棚田が持つ価値と魅力

棚田は、
国民共有の財産
(棚田地域振興法)



棚田が持つ
多面的な機能



棚田が持つ価値と魅力

国内食糧供給の
一翼を担う地域・上越

水稻の作付面積は、全国4位 収穫量では、全国7位

順位	市町村名	作付面積 (ha)	順位	市町村名	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
1	新潟市	24,600	1	新潟市	24,600	136,800
2	長岡市	12,500	2	大仙市	12,100	72,700
3	大仙市	12,100	3	鶴岡市	10,900	67,600
4	上越市	11,500	4	横手市	11,100	67,400
5	横手市	11,100	5	長岡市	12,500	64,200
6	鶴岡市	10,900	6	大潟村	10,100	61,200
7	登米市	10,300	7	上越市	11,500	60,900
8	大潟村	10,100	8	登米市	10,300	59,100
9	奥州市	10,000	9	奥州市	10,000	56,200
10	栗原市	9,650	10	大崎市	9,540	53,700

出典：農林水産省「令和3年作物統計」

上越コシヒカリは、
一般財団法人日本穀物検定協会
食味ランキング

平成25年から10年連続

最高評価
「特A」

上越市の米自給率
268% (試算)

※ 年間収穫量約6万トンを上越市年間消費
試算量22,420トン(1人当たり米年間消費
量がピークであった昭和37年度118kg×上
越市人口19万人)で除したもの
⇒ 昭和37年度当時の消費量でも、
50万8千人分の米自給が可能

美味しいお米を生み出す棚田

新米おにぎりが
とても美味しかった
上越の誇りです

ごはんの甘味があって
かめばかむほど
おいしかったです

おにぎり すごく
おいしかったです

10月28日上越市農林水産フェスティバル来場者の声

ごはん
おいしかったです
ごちそうさまでした

もちもちしていて
おいしかった

いつもおいしいお米
を作っていたいただき
ありがとうございます

棚田が持つ価値と魅力 全国有数の多様な棚田が存在し、 様々な活動が展開

つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ

棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、
棚田地域の活性化や棚田の有する多面的機能に対する一層の
理解の促進を図るため、令和3年度に農林水産省が選定



全国271の棚田が選定され、

うち新潟県は全国最多36棚田が選定

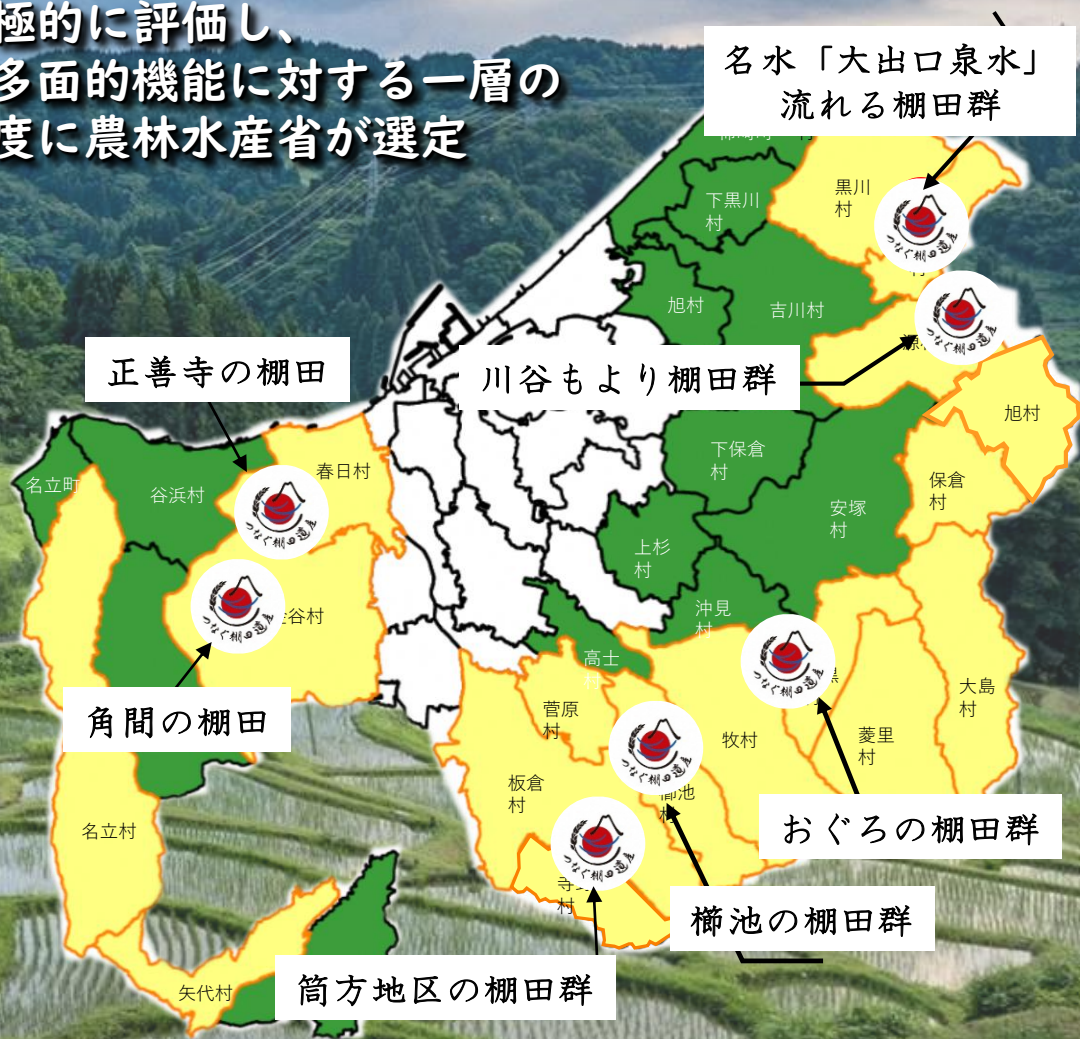
そのうち**上越市**では

選定棚田面積
374.2ha

選定棚田数
7

全国
1位

全国
2位



名水「大出口泉水」
流れる棚田群

正善寺の棚田

川谷もより棚田群

角間の棚田

おぐろの棚田群

檜池の棚田群

筒方地区の棚田群

棚田の魅力を広く紹介

棚田PRツールを作成し、
上越市の棚田への来訪を促進

上越の棚田に
来て、見て、知って

上越市だけで全16種!
地域を訪れて集めよう!
棚田カード



棚田地域での取組や見どころを紹介
棚田マップ



持ち運べる
ポケット
サイズ

棚田が抱える課題

～平野部より厳しい農業生産環境～

全国より深刻な高齢化の進展

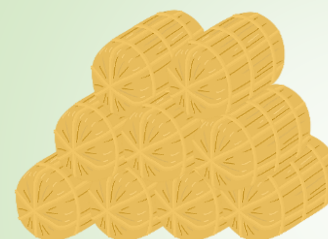
◇高齢化率(65歳以上人口比率)

単位:%

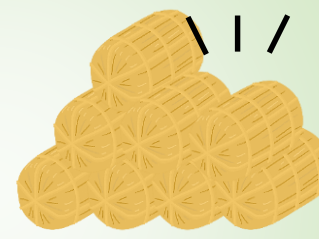
	2015年	2030年	2045年
新潟県	29.9	35.6	40.9
上越市	30.1	35.5	40.6
上越市中山間地域	35.3	44.7	57.5
全国	26.6	31.2	36.8
全国中山間地域	34.4	42.4	48.2

出典 農村地域人口と農業集落の将来予測
(令和元年8月:農林水産政策研究所)

平野部より低い米の収量



市内平野部
555kg/10a



市内中山間地域
510kg/10a
(▲45kg/10a)

出典 上越市農業再生協議会

不整形、急傾斜等の非効率なほ場条件

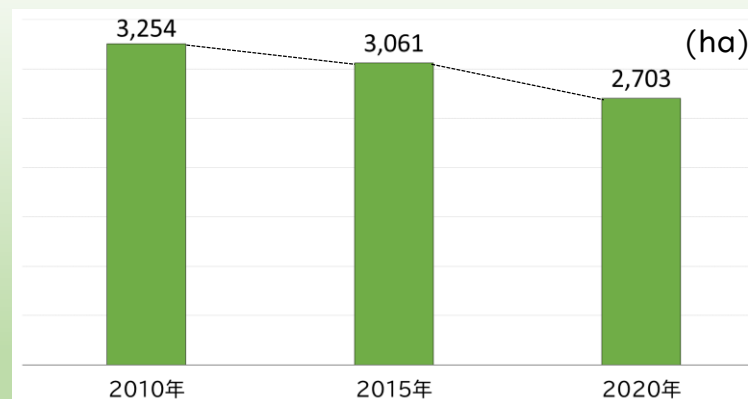


小区画で
不整形なほ場



法面が急傾斜かつ
広大なほ場

年々減る棚田地域の耕地面積



出典 農林業センサス(指定棚田地域の耕地面積を市で集計)

上越市の取組指針

上越市第7次総合計画

～暮らしやすく、希望あふれるまち 上越～

施策

農林水産業の価値と魅力向上

(目標)

多面的機能を有する棚田が、市民共有の財産として広く認識され、多様な主体の参画と連携によって守られる中で、地域の伝統文化等が継承されています。

施策の柱

魅力ある地域資源の有効活用

- 棚田地域の振興活動への多様な主体の参画と連携を促すため、中山間地域等直接支払交付金などを活用し、棚田が持つ魅力や豊かな多面的機能に関する情報を市内外に向けて積極的に発信します。
- ふるさと納税制度を活用するなど、当市の様々な魅力ある農産物をPRし、地域の活性化に取り組みます。

名水「大出口泉水」流れる棚田群(柿崎区東横山)

今日、皆さんと話し合いたいこと

さまざまな価値や魅力を持つ

“棚田”を未来へつなぐために

一人一人ができること、必要なこと

…例えば、棚田を知る、食べる、発信する、訪れるなど

棚田を守る人たちが参画する「棚田みらい応援団」「中山間地域支え隊」(牧区棚広)